

9802961-4
JP05

PCT

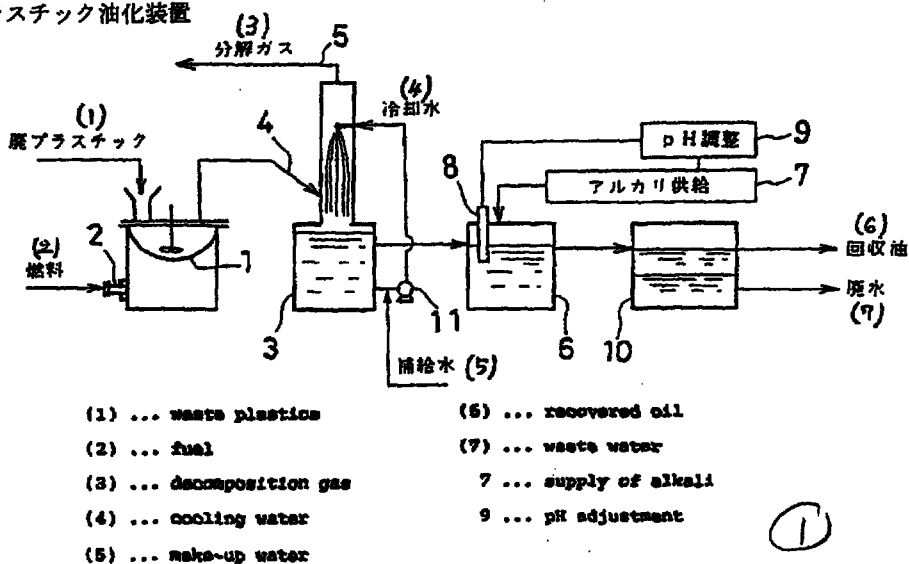
世界知的所有権機関
国際事務局

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類6 C10G 1/10, A62D 3/00, B09B 3/00, C08J 11/12, C10B 53/00	A1	(11) 国際公開番号 WO97/19147 ✓ (43) 国際公開日 1997年5月29日 (29.05.97)
(21) 国際出願番号 PCT/JP96/03409 ✓ (22) 国際出願日 1996年11月21日 (21.11.96) ✓ (30) 優先権データ ① 特願平7/303215 ✓ 1995年11月22日 (22.11.95) ✓ JP ② 特願平8/26583 ✓ 1996年2月14日 (14.02.96) ✓ JP 特願平8/187063 ✓ 1996年7月17日 (17.07.96) ✓ JP (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 日立造船株式会社 (HITACHI ZOSEN CORPORATION)[JP/JP] ✓ 〒554 大阪府大阪市此花区西九条5丁目3番28号 Osaka, (JP) (72) 発明者: および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 三浦祥正(MIURA, Yoshimasa)[JP/JP] 荻野悦生(OGINO, Etsuo)[JP/JP] 鈴木秀男(SUZUKI, Hideo)[JP/JP] 岡田裕介(OKADA, Yuusuke)[JP/JP] 〒554 大阪府大阪市此花区西九条5丁目3番28号 日立造船株式会社内 Osaka, (JP)	(74) 代理人 弁理士 岸本瑛之助, 外(KISHIMOTO, Einosuke et al.) 〒542 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目13番18号 イナビル3階 Osaka, (JP) (81) 指定国 CA, KR, SG, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE). 添付公開書類 国際調査報告書	

(54) Title: APPARATUS FOR LIQUEFYING WASTE PLASTICS

(54) 発明の名称 廃プラスチック油化装置



(57) Abstract

An apparatus for liquefying waste plastics which makes it possible to charge the waste plastics intact into a thermal decomposition tank without removing polyvinyl chloride in advance, is easy to handle, and can remove effectively and at a low cost the resulting detrimental decomposition gases and acidic components. This apparatus includes a waste plastic charging device for charging the waste plastics, which may contain chlorine type resins and nitrile type resins, into a thermal decomposition oven, the thermal decomposition oven for thermally decomposing the waste plastics so charged, a quenching column for cooling the oil vapor and the decomposition gases generated from the thermal decomposition oven with water, a neutralization tank for neutralizing cooling water used for cooling by an alkali, and an oil-water separation tank for separating the condensed oil and water contents.

(57) 要約

本発明は、予めポリ塩化ビニルを除去することなく、廃プラスチックをそのまま熱分解槽に投入可能であって、ハンドリングが容易であり、しかも生成した有害分解ガスや酸性成分を効果的に且つ低コストで除去することができる廃プラスチック油化装置を提供することを目的とする。

本発明による廃プラスチック油化装置は、塩素系樹脂、ニトリル系樹脂を含んでいてもよい廃プラスチックを熱分解釜に投入する廃プラスチック投入装置と、投入された廃プラスチックを熱分解する熱分解釜と、熱分解釜より発生する油蒸気および分解ガスを水で冷却する急冷塔と、冷却に使用した水をアルカリで中和する中和槽と、凝縮した油分と水分を分離する油水分離槽とからなる。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願をパンフレット第一頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AL	アルバニア	EE	エストニア	LR	リベリア	RU	ロシア連邦
AM	アルメニア	ES	スペイン	LS	レソト	RD	ルドウィグ
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LT	リトアニア	SE	スウェーデン
AU	オーストラリア	FR	フランス	LU	ルクセンブルグ	SG	シンガポール
AZ	アゼルバイジャン	GB	ガブリリス	LV	ラトヴィア	SK	スロバキア
BB	バルバドス	GE	イギリス	MC	モナコ	SN	セネガル
BE	ベルギー	GH	ガーナ	MD	モルドバ	SZ	スワジランド
BG	ブルガリア	GN	ギニア	MG	マダガスカル	TD	チャド
BJ	ベナン	GR	ギリシャ	MK	マケドニア	TG	トーゴ
BR	ブラジル	HU	ハンガリー	UA	ウクライナ	TM	トルクメニスタン
BY	ベラルーシ	IE	アイルランド	ML	マリ	TR	トルコ
CA	カナダ	IT	イタリア	MN	モンゴル	TT	トリニダード・トバゴ
CC	中央アフリカ共和国	JP	日本	MR	モーリタニア	TA	タリ
CG	コンゴ	KE	ケニア	MW	マラウイ	UG	ウガンダ
CH	スイス	KG	キルギスタン	MX	メキシコ	US	米国
CI	コート・ジボアール	KP	朝鮮民主主義人民共和国	NL	ネーデルラント	UZ	ウズベキスタン共和国
CM	カメルーン	KR	大韓民国	NO	ノルウェー	VN	ベトナム
CN	中国	KZ	カザフスタン	NZ	ニュージーランド	YU	ユーゴスラビア
CZ	チェコ共和国	LI	リヒテンシュタイン	PT	ポルトガル		
DE	ドイツ	LK	スリランカ	RO	ルーマニア		
DK	デンマーク						